兵庫労働局長　殿

所在地

事業場名

代表者職氏名

安全衛生改善計画書

労働安全衛生法第79条第１項及び第２項の規定に基づき､下記のとおり改善計画を作成し､

労働災害の減少に努力いたしますので報告いたします。

記

１　事業の概要

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業場名称 |  | 資本金 | |  |
| 所在地 |  | 主要な設備 | |  |
| 代表者職氏名 |  | 労働者数 | 男 |  |
| 業種 |  | 女 |  |
| 主要製品 |  | 合計 |  |

２　事業場の安全衛生の現況

（１）施設の現況

➀　施設

　　　　　　　　　　　　　　m2

➁　主要機械設備

（２）施設の安全衛生面の問題点

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工程 |  |  |  |  |  |
| 作業名 |  |  |  |  |  |
| 材料等 |  |  |  |  |  |
| 機械名 |  |  |  |  |  |
| 問題点 |  |  |  |  |  |

* プロセスフローシート等を記入し、工程ごとの改善対策や問題点等を記入してください。

書き込めない場合は、別紙で添付してください。

（３）労働災害発生の状況

　　　不休災害を含めて、少なくとも過去３年間に発生した災害について、別表にまとめてください。

（４）労働災害の分析

　　　上記により把握した災害発生状況により分析・検討を行い又は行った結果を箇条書きにしてください。

　１

　２

　３

（５）労働災害分析の結果、問題点と改善を要する事項

➀　施設に関する事項

　１

　２

　３

➁　安全衛生教育に関する事項

　１

　２

　３

➂　安全衛生管理機構及び問題点と改善を要する事項

　１

　２

　３

３　会社の労働災害に対する基本方針

経営のトップが安全衛生の推進について熱意を持つ事業場では、安全衛生管理が順調に進められ、安全衛生成績もかなり良好な結果を示しており、全体を統括するトップの動向が労働災害防止の推進を大きく左右するものです。

そこで、経営トップは安全衛生管理を統括するとともに基本方針を明確にしてください。

|  |
| --- |
|  |

４　労働災害減少目標

本来､「労働災害は起こしてはならないものである」という認識のもと､これが日常化するよう､自社の状況を十分考慮した実効性のある目標を積極的に樹立してください。

|  |
| --- |
| （１）不休災害を含むあらゆる労働災害　　　　　　　　　件  （２）職業性疾病　　　　　　　　　　　　　　　　　　　件  （３）通勤途上災害　　　　　　　　　　　　　　　　　　件 |

５　本年度の改善計画

（１）安全衛生管理体制に関する事項

イ　安全衛生管理組織図（別添で添付してください。）

ロ　改善事項

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 改善事項 | 改善内容 | 所要経費 | 改善予定日 |
|  |  | 円 |  |
|  |  | 円 |  |
|  |  | 円 |  |
|  |  | 円 |  |
|  |  | 円 |  |
|  |  | 円 |  |
|  |  | 円 |  |

（２）施設に関する事項

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 改善事項 | 改善内容 | 労働災害  防止効果 | 所要経費 | 資金計画 | 実施予定日 |
|  |  |  | 円 |  |  |
|  |  |  | 円 |  |  |
|  |  |  | 円 |  |  |
|  |  |  | 円 |  |  |
|  |  |  | 円 |  |  |
|  |  |  | 円 |  |  |
|  |  |  | 円 |  |  |
|  |  |  | 円 |  |  |
|  |  |  | 円 |  |  |

（３）安全衛生教育に関する事項

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 改善事項 | 教育対象 | 人員 | 教材等 | 講師 | 所要経費 | 実施予定日 |
|  |  |  |  |  | 円 |  |
|  |  |  |  |  | 円 |  |
|  |  |  |  |  | 円 |  |
|  |  |  |  |  | 円 |  |
|  |  |  |  |  | 円 |  |
|  |  |  |  |  | 円 |  |
|  |  |  |  |  | 円 |  |
|  |  |  |  |  | 円 |  |

（４）月別実施計画表

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 項目 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 項目 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

労働者代表の意見書

令和　　年　　月　　日

事業場代表者職氏名

事業場名称

所在地

職氏名　　　　　　　　　　　　殿

労働組合名・組合代表者職氏名

又は労働者の過半数代表者職氏名

組合名称

職氏名

　会社から指示のありました令和　　年度安全衛生改善計画について審議した結果は、下記のとおりです。

記

（記載例１）

兵庫労働局長　殿

所在地　神戸市中央区東川崎町１-１-３

事業場名　○○工業株式会社

代表者職氏名　代表取締役　○○　○○

安全衛生改善計画書

労働安全衛生法第79条第１項及び第２項の規定に基づき､下記のとおり改善計画を作成し､

労働災害の減少に努力いたしますので報告いたします。

記

１　事業の概要

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業場名称 | ○○食品株式会社 | 資本金 | | １，０００万円 |
| 所在地 | 神戸市中央区東川崎町  １-１-３ | 主要な設備 | | 別添１のとおり |
| 代表者職氏名 | 代表取締役　○○　○○ | 労働者数 | 男 | ２５人 |
| 業種 | 食料品製造業 | 女 | １０１人 |
| 主要製品 | 弁当・惣菜 | 合計 | １２６人 |

２　事業場の安全衛生の現況

（１）施設の現況

➀　施設

　　鉄筋コンクリート造６階建５００m2

➁　主要機械設備

　　別添１のとおり

（２）施設の安全衛生面の問題点

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工程 | 仕入 | 検品 | 貯蔵 | 洗浄 | 裁断 |
| 作業名 | 仕入 | 検品 | 貯蔵 | 洗浄 | 裁断 |
| 材料等 | 食品 | 食品 | 食品 | 水道水 | 包丁 |
| 機械名 | フォークリフト | なし | 冷蔵庫・冷凍庫・フォークリフト・バレッター | シンク、遠心脱水機 | 包丁、電動スライサー |
| 問題点 | フォークリフトと接触 | 照度の確保 | 低温作業、フォークリフトとの接触、冷凍庫内での転倒 | 腰痛、転倒 | 包丁、電動スライサーでの切れこすれ |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工程 | 加工 | 包装 | 検査 | 箱詰 | 出荷 |
| 作業名 | 加工 | 包装 | 検査 | 箱詰 | 出荷 |
| 材料等 | 油 | プラスチックシート | 電気、エックス線 | 段ボール箱 | 段ボール箱 |
| 機械名 | フライヤー、コンベアー、ミキサー | 包装機 | エックス線異物検知装置 | ステープラー | フォークリフト |
| 問題点 | フライヤーで火傷、コンベアーに巻き込まれ、ミキサーで切れこすれ | 腰痛、包装機でのはさまれ | 感電、エックス線異物検知装置で被ばく | ステープラー針の刺創 | フォークリフトと接触 |

* プロセスフローシート等を記入し、工程ごとの改善対策や問題点等を記入してください。

書き込めない場合は、別紙で添付してください。

（３）労働災害発生の状況（別添２のとおり）

　　　不休災害を含めて、少なくとも過去３年間に発生した災害について、別表にまとめてください。

（４）労働災害の分析

　　　上記により把握した災害発生状況により分析・検討を行い又は行った結果を箇条書きにしてください。

　１

　２

　３

（５）労働災害分析の結果、問題点と改善を要する事項

➀　施設に関する事項

１　床の水濡れによる転倒防止のため、床を滑りにくくする塗料の塗布

２　フライヤーの油による火傷防止のため、蓋板等の設置

３　エックス線異物検知装置による被爆を防ぐため、エックス線異物検知装置出入口の覆いの延長

４　フォークリフトとの接触防止のための鏡の設置

５　低温作業時間の管理、冷凍庫内での転倒防止のため、滑りにくい長靴の試行と採用

６　腰痛予防体操の取り組み

７　電動スライサーでの切傷防止と包装機によるはさまれ防止のためのカバーの取付け

➁　安全衛生教育に関する事項

１　パート労働者の安全衛生教育を繰り返し実施

２　職長の再教育を実施

３　安全衛生担当者のリスクアセスメント講習の受講

４　ＳＤＳシートを使用して、洗剤等に含まれる化学物質対策に係る安全衛生教育の実施

➂　安全衛生管理機構及び問題点と改善を要する事項

１　安全衛生管理体制が明確でなかったため、ラインごとに職長を任命

２　安全管理者と衛生管理者を複数選任し、正副２名体制で管理者の不在を防止する

３　会社の労働災害に対する基本方針

経営のトップが安全衛生の推進について熱意を持つ事業場では、安全衛生管理が順調に進められ、安全衛生成績もかなり良好な結果を示しており、全体を統括するトップの動向が労働災害防止の推進を大きく左右するものです。

そこで、経営トップは安全衛生管理を統括するとともに基本方針を明確にしてください。

|  |
| --- |
| 「災害ゼロより危険ゼロ」を取り込み、徹底させるため、リスクアセスメントを導入して労働災害を防止する |

４　労働災害減少目標

本来､「労働災害は起こしてはならないものである」という認識のもと､これが日常化するよう､自社の状況を十分考慮した実効性のある目標を積極的に樹立してください。

|  |
| --- |
| （１）不休災害を含むあらゆる労働災害　　　　　　　０件  （２）職業性疾病　　　　　　　　　　　　　　　　　０件  （３）通勤途上災害　　　　　　　　　　　　　　　　０件 |

５　本年度の改善計画

（１）安全衛生管理体制に関する事項

イ　安全衛生管理組織図（別添３で添付してください。）

ロ　改善事項

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 改善事項 | 改善内容 | 所要経費 | 改善予定日 |
| 安全管理者養成 | 安全管理者講習の受講 | ３万円 | 10月末日 |
| 衛生管理者養成 | 衛生管理者の免許取得、受験準備講習の受講と免許試験の受験 | １０万円 | 12月末日 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

（２）施設に関する事項

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 改善事項 | 改善内容 | 労働災害  防止効果 | 所要経費 | 資金計画 | 実施予定日 |
| 床の水濡れによる転倒防止 | 床を滑りにくい塗料の塗布 | 転倒防止 | ５０万円 | 自費 | 11月末日 |
| フォークリフトと人との接触防止 | 交差する通路に鏡を設置 | 接触防止 | ３０万円 | 自費 | ８月末日 |
| 工場内での転倒防止 | 夜間に暗くて転倒しやすい場所の照度の確保 | 転倒防止 | ３０万円 | 自費 | ７月末日 |
| 冷凍庫内での転倒防止 | 転倒防止のための滑りにくい長靴の採用 | 転倒防止 | １０万円 | 自費 | ５月末日 |
| 電動スライサーでの切れこすれ防止 | 切傷防止のためのカバーの取り付け | 切れ・こすれ防止 | １０万円 | 自費 | ８月末日 |
|  |  |  |  |  |  |

（３）安全衛生教育に関する事項

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 改善事項 | 教育対象 | 人員 | 教材等 | 講師 | 所要経費 | 実施予定日 |
| パート労働者の安全衛生教育 | パート労働者 | １０１人 | グループ企業の資料 | 製造部長・人事課長 | ５万円 | ９月末日 |
| 職長教育 | 職長、班長 | １５人 | 基準協会等 | 基準協会等 | ２０万円 | ９月末日 |
| リスクアセスメント講習の受講 | 安全・衛生管理者等 | ３人 | 同上 | 同上 | １０万円 | ８月末日 |
| ＳＤＳに関する教育の受講 | 同上 | ３人 | 同上 | 同上 | １０万円 | ８月末日 |
|  |  |  |  |  |  |  |

（４）月別実施計画表

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 項目 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 |
| 管理体制  施設  安全衛生教育 | 安全管理者養成  衛生管理者養成  電動スライサーでの切れこすれ防止  床の水濡れによる転倒防止  冷凍庫内の霜による転倒防止  フォークリフトと人との接触防止  照明の増設  パート労働者の安全衛生教育  職長教育  リスクアセスメント講習の受講  ＳＤＳに関する教育の受講 |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 項目 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 |
| 管理体制  施設  安全衛生教育 | 安全管理者養成  衛生管理者養成  電動スライサーでの切れこすれ防止  床の水濡れによる転倒防止  冷凍庫内の霜による転倒防止  フォークリフトと人との接触防止  照明の増設  パート労働者の安全衛生教育  職長教育  リスクアセスメント講習の受講  ＳＤＳに関する教育の受講 |  |  |  |  |  |  |

労働者代表の意見書

令和　　年　　月　　日

事業場代表者職氏名

事業場名称　○○工業株式会社

所在地　神戸市中央区東川崎町１－１－３

職氏名　代表取締役　○○　○○　殿

労働組合名・組合代表者職氏名

又は労働者の過半数代表者職氏名

組合名称　○○工業労働組合

職氏名　執行委員長　○○　○○

　会社から指示のありました令和　　年度安全衛生改善計画について審議した結果は、下記のとおりです。

記

労働災害を防止するため、労働者として､令和　　年度安全衛生改善計画を取り組むことに対して全面的に会社に協力し、労働安全衛生法をはじめ関係法令等を遵守することに意義はありません。

（記載例２）

兵庫労働局長　殿

所在地　神戸市中央区東川崎町１-１-３

事業場名　○○工業株式会社

代表者職氏名　代表取締役　○○　○○

安全衛生改善計画書

労働安全衛生法第79条第１項及び第２項の規定に基づき､下記のとおり改善計画を作成し､

労働災害の減少に努力いたしますので報告いたします。

記

１　事業の概要

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業場名称 | ○○食品株式会社 | 資本金 | | ３，０００万円 |
| 所在地 | 神戸市中央区東川崎町  １-１-３ | 主要な設備 | | 別添１のとおり |
| 代表者職氏名 | 代表取締役　○○　○○ | 労働者数 | 男 | ４１人 |
| 業種 | 金属製品製造業 | 女 | ７人 |
| 主要製品 | 機械部品 | 合計 | ４８人 |

２　事業場の安全衛生の現況

（１）施設の現況

➀　施設

　　鉄骨造２階建２５０m2

➁　主要機械設備

　　別添１のとおり

（２）施設の安全衛生面の問題点

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工程 | 仕入 | 検品 | 保管 | 裁断 | 加工 |
| 作業名 | 仕入 | 検品 | 保管 | 裁断 | 加工 |
| 材料等 | 鋼板等 | 鋼板等 | 鋼板等 | 鋼板等 | 鋼板等、切削油 |
| 機械名 | フォークリフト、クレーン | なし | なし | シャー | 溶接機、プレス、ボール盤、旋盤、研削砥石 |
| 問題点 | フォークリフトと人との接触、クレーンや小型移動式クレーンで鋼板等で指をはさまれる | 鋼板上で滑って転倒 | 通路での転倒 | 重量物の運搬による腰痛 | 切粉の飛来、電気溶接機での感電、グラインダーディスクの割れによる飛来 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工程 | 検査 | 組立 | 検査 | 梱包 | 出荷 |
| 作業名 | 検査 | 組立 | 検査 | 梱包 | 出荷 |
| 材料等 | 鋼板等 | 鋼板等 | 鋼板等 | 木材、釘 | 製品 |
| 機械名 | 放射線装置 | クレーン | なし | 釘打ち機、携帯用丸のこ盤 | フォークリフト、クレーン |
| 問題点 | 放射線装置による被ばく | クレーンで鋼板等の玉掛け時に指等のはさまれ、脚立からの転落 | 通路での転倒 | 木材のとげや釘打ち機による釘の刺創、木材を加工する際の携帯用丸のこ盤による切れ | フォークリフトと人との接触、クレーンで鋼板等の玉掛け時に指等のはさまれ |

* プロセスフローシート等を記入し、工程ごとの改善対策や問題点等を記入してください。

書き込めない場合は、別紙で添付してください。

（３）労働災害発生の状況（別添２のとおり）

　　　不休災害を含めて、少なくとも過去３年間に発生した災害について、別表にまとめてください。

（４）労働災害の分析

　　　上記により把握した災害発生状況により分析・検討を行い又は行った結果を箇条書きにしてください。

　１

　２

　３

（５）労働災害分析の結果、問題点と改善を要する事項

➀　施設に関する事項

１　フォークリフトとの接触防止のための鏡の設置等、接触防止対策

２　高温作業時間の管理、熱中症対策

３　グラインダーや携帯用丸のこ盤による切れ、こすれ防止

４　プレスやシャーによるはさまれ防止のための光線式安全装置の取り付け

➁　安全衛生教育に関する事項

１　クレーン運転者と玉掛け者の安全衛生教育を繰り返し実施

２　職長の再教育を実施

３　安全衛生担当者のリスクアセスメント講習の受講

４　ＳＤＳシート等を使用して、化学物質対策としての安全衛生教育を実施

➂　安全衛生管理機構及び問題点と改善を要する事項

１　安全衛生管理体制が明確でなかったため、職長を任命

２　安全衛生推進者を複数選任し、正副２名体制で労災防止に取り組む

３　これまで、事業主が率先して労災防止を進めていたが、安全衛生担当者や職長を任命し、職場として安全衛生活動が推進できる組織を確立する

４　労災防止対策が後手になっていたため､リスクアセスメント担当者を要請して、プロジェクトチームを立ち上げ、リスクアセスメントを導入し先取り安全の推進を図る

３　会社の労働災害に対する基本方針

経営のトップが安全衛生の推進について熱意を持つ事業場では、安全衛生管理が順調に進められ、安全衛生成績もかなり良好な結果を示しており、全体を統括するトップの動向が労働災害防止の推進を大きく左右するものです。

そこで、経営トップは安全衛生管理を統括するとともに基本方針を明確にしてください。

|  |
| --- |
| 「災害ゼロより危険ゼロ」を取り込み、徹底させるため、リスクアセスメントを導入して労働災害を防止する |

４　労働災害減少目標

本来､「労働災害は起こしてはならないものである」という認識のもと､これが日常化するよう､自社の状況を十分考慮した実効性のある目標を積極的に樹立してください。

|  |
| --- |
| （１）不休災害を含むあらゆる労働災害　　　　　　　０件  （２）職業性疾病　　　　　　　　　　　　　　　　　０件  （３）通勤途上災害　　　　　　　　　　　　　　　　０件 |

５　本年度の改善計画

（１）安全衛生管理体制に関する事項

イ　安全衛生管理組織図（別添で添付してください。）

ロ　改善事項

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 改善事項 | 改善内容 | 所要経費 | 改善予定日 |
| 安全衛生推進者養成 | 安全衛生推進者講習の受講 | ５万円 | 10月末日 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

（２）施設に関する事項

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 改善事項 | 改善内容 | 労働災害  防止効果 | 所要経費 | 資金計画 | 実施予定日 |
| 鋼板上での転倒防止 | 滑りにくい安全靴の購入 | 転倒防止 | ５０万円 | 自費 | ６月末日 |
| フォークリフトと人との接触防止 | 交差する通路に鏡を設置 | 接触防止 | ３０万円 | 自費 | ８月末日 |
| 照明の増設 | 夜間に暗くて転倒しやすい場所の照度の確保 | 転倒防止 | ３０万円 | 自費 | ７月末日 |
| 熱中症対策 | スポットクーラーの増設 | 熱中症対策 | ８０万円 | 自費 | ５月末日 |
| 携帯用丸のこ盤での切れこすれ防止 | カバーの点検と不良品の取換え | はさまれ・巻き込まれ防止 | １０万円 | 自費 | ８月末日 |
| 通路と作業エリアの清掃 | 清掃用具の購入 | 清掃 | １０万円 | 自費 | 随時 |

（３）安全衛生教育に関する事項

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 改善事項 | 教育対象 | 人員 | 教材等 | 講師 | 所要経費 | 実施予定日 |
| 労働者の安全衛生教育 | 全員 | ４８人 | 関連企業の資料を使用 | 製造部長 | ２５万円 | １月末日 |
| 職長教育 | 職長、班長 | ５人 | 基準協会等 | 基準協会等 | ２０万円 | ９月末日 |
| リスクアセスメント講習の受講 | 職長 | ３人 | 同　上 | 同　上 | １０万円 | ８月末日 |
| ＳＤＳに関する教育の受講 | 同上 | ３人 | 同　上 | 同　上 | １０万円 | ８月末日 |
| フォークリフト運転技能講習修了者の増員 | フォークリフト運転者 | ５人 | 同　上 | 同　上 | ２０万円 | 12月末日 |
| クレーン運転技能講習修了者の増員 | クレーン運転者 | ５人 | 同　上 | 同　上 | ２０万円 | 12月末日 |
| 玉掛け技能講習修了者の増員 | 玉掛け作業者 | ５人 | 同　上 | 同　上 | ２０万円 | 12月末日 |

（４）月別実施計画表

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 項目 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 |
| 管理体制  施　設  安全衛生教育 | 安全衛生推進者養成  携帯丸のこ盤による切れこすれ防止  鋼板上での転倒防止  熱中症対策  フォークリフトと人との接触防止  照明の増設  安全衛生教育  職長教育  リスクアセスメント講習の受講  ＳＤＳに関する教育の受講  フォークリフト運転技能講習  クレーン運転技能講習  玉掛け技能講習 |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 項目 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 |
| 管理体制  施　設  安全衛生教育 | 安全衛生推進者養成  携帯丸のこ盤による切れこすれ防止  鋼板上での転倒防止  熱中症対策  フォークリフトと人との接触防止  照明の増設  安全衛生教育  職長教育  リスクアセスメント講習の受講  ＳＤＳに関する教育の受講  フォークリフト運転技能講習  クレーン運転技能講習  玉掛け技能講習 |  |  |  |  |  |  |

労働者代表の意見書

令和　　年　　月　　日

事業場代表者職氏名

事業場名称　○○工業株式会社

所在地　神戸市中央区東川崎町１－１－３

職氏名　代表取締役　○○　○○　殿

労働組合名・組合代表者職氏名

又は労働者の過半数代表者職氏名

組合名称　○○工業労働組合

職氏名　執行委員長　○○　○○

　会社から指示のありました令和　　年度安全衛生改善計画について審議した結果は、下記のとおりです。

記

労働災害を防止するため、労働者として、令和　　年度安全衛生改善計画を取り組むことに対して全面的に会社に協力し、労働安全衛生法をはじめ関係法令等を遵守することに意義はありません。